

北ノ沢第三町内会創立50周年記念誌

北三 50 周年
Memorial

もいわと共に

～未来へつなぐ～





創立50周年を迎えて

北ノ沢第三町内会会長 鎌田 光子

札幌の名所藻岩山の南斜面の麓に細長く広がり、藻岩山観光自動車道
路の玄関口となっている我が北ノ沢第三町内会は、本年創立50周年を迎
えます。

「30周年北ノ沢第三町内会史」を紐解きますと、戦前は、町内会の大部
分が前山久吉氏の所有地で戦後農地解放のため小作の方へ分けられたとあ
り、町内会館入り口にある石碑は、前山翁の徳を唱えるために建てられた
ものです。

昭和46年に市政が変わり、それまでの分区制度から、町内会として活動
するようになり、今年で50年を迎えたのです。その時の世帯数は、正確に
は分かりませんが、昭和43年109世帯という記録があり、初代会長は小
長谷政一氏でした。昭和47年には札幌市が政令都市となり、南区が誕生し
ています。昭和53年には、466世帯、昭和61年776世帯、平成2年
900世帯、平成12年1100世帯となり、ほぼ現在の世帯数となってい
きました。この発展は、山手線整備、町内会館の建設、バス増便の陳情、上

下水道の整備、街路灯の市への移管等々一つひとつ諸先輩をはじめ、町内
会役員の方々の並々ならぬ努力の賜物です。そのお陰で、今ではこの緑豊
かな町内で快適に暮らすことが出来ていることに先人の方々へ心から感謝
申し上げます。

平成27年には町内会館を新築したかと思えるほどの会館に増改築するこ
とができました。これは、先代の役員の方々が、建て替えのために計画を
たて、永年に渡り積み立てをして下さっていたこと、札幌市より補助金を
受けられたこと、各会員様が毎月古紙回収にご協力下さり、積み立ての増
額が出来たこと等によるもので、どれひとつ欠けても叶わなかったと思
います。一町内会が単独で独自の会館を保有し、利用している町内会は珍し
く、これからも大切に管理維持し、後の世代に残していきたいと考えてお
ります。今後とも会員の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年2月より発生した新型コロナウイルス感染症のため、今なお町内会
活動は予定通りに出来ておりませんが、その中にあっても感染予防対策を
取り、会場・時間を工夫し、会議を重ねてまいりました。記念事業のため
にご協力いただきました皆様には、厚く御礼申し上げますと共に、今後一
層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます、ここに発刊の言葉とさせていただきます。



お祝いの言葉

藻岩地区町内会連合会

会長 村上 剛

この度、北ノ沢第三町内会が創立50周年を迎えられましたこと、心よりお喜び申し上げます。

貴町内会は、会員皆様の発意によって幾星霜を乗り越えて今があります。そして、ここに先人の足跡を顧み、敬意を表しながら、今もその血脈を継承して、理想の故郷と地域社会づくりを目指して取り組んでいる姿を記憶ではなく記録として未来永劫残されることに、発刊のお祝いと併せ、藻岩地区町内会連合会の会長として、誠に有難く感謝申し上げます。

こうして、記録に残すことで、きっと故郷を後にした人達も戻って来たりくなり、また、離れたなくなる故郷となることでしょう。

当地区は、明治9年に入植され、人口の増加も相俟って農地から山際まで閑静な住宅が建ち並び、発展し続けている地域であります。

50年前と言いますと、昭和46年。日本国中が札幌オリンピックを一年後に控えており、活況を呈していた頃でございます。

その頃より、地域活動はより一層充実され、活発になってきました。

その後、時代が徐々に「個」の時代へと変化し、それにより、地域活動に対する思いも、社会の状況も様々に変容してきました。いまや町内会へ加入しなくても生活に支障がでないであろうと、町内会への「未加入者」、町内会からの「退会者」が増加してきております。あらためて、町内会の役割を見つめなおさなければなりません。

ただ、そのような時代の中にあつて、貴町内会は、我が藻岩地区連合町内会28町の中で一番世帯数が多い町内会であり、その存在感、貢献度はとても高く、連合町内会として助かっているというより、更に期待しているところがございます。

これからも、鎌田会長のもと、皆様方の固い絆で結ばれ、更に発展されますこと願っております。

藻岩町連は、「藻岩山があるから色々対応しやすくいいですね。」とよく言われます。そう言われてみれば、「藻岩」を冠としておりながら、その恩恵に全くあずかっていないのは如何なものか、と思っております。例えば、「八垂別の滝」「藻南公園周辺」そして、「藻岩南スキー場を起点とした裏藻岩からの眺望」等を三大売りとして、取り組めないものでしょうか。皆さんと知恵を出し合えたら有難いと思います。

次の100周年を目指し、貴町内会がますます活躍されますことを祈念いたし、お祝いの言葉と致します。



北ノ沢第三町内会 創立50周年に寄せて

北ノ沢第三町内会副会長

北ノ沢和朗会会長

齋藤 昇

北ノ沢第三町内会が発足し、50周年という節目を迎えられましたことを心からお慶びお祝い申し上げます。

この半世紀の長きにわたり、町内会を支えられてこられました歴代の町内会長はじめ、役員の皆様のためまぬご努力に深く敬意を表する次第であります。

発足当時の町内会員世帯数は、さほど多くはなかったと思いますが、昭和五十年代から宅地造成や分譲住宅の販売が積極的に行われ、他地区からの転入者が増え、当町内会加入世帯数は増加の一途であり、藻岩地区連合町内会では最大規模の町内会となりました。ここに来て、少子高齢化が進み、人口・世帯数も減少傾向になってきております。今後の町内会運営に当たっては山坂も多く、高齢者人口率も高い、当町内会の地域事情考えながら、「住民の皆様が、安全で安心して楽しく生活ができる町づくり」をテーマとして、この実現に向けて今後も努力していく必要があると考えています。特に、他地区に比べ、高齢者人口占有率40%超

という高い当町内会に於いては高齢者に目を向けた「互いに支え合い、助け合う共助の精神で、生きがいのある明るいシルバークライフ」活動を今まで以上に和朗会（老人クラブ）と一体となって推進していく必要があると考えています。

皆様には今後とも「北ノ沢第三町内会」「北ノ沢和朗会」の繁栄・発展にご支援ご協力をお願い申し上げます。創立50周年を迎えてのお祝いのご挨拶とさせていただきます。



北ノ沢第三町内会創立50周年記念誌 目次

創立50周年を迎えて……………	北ノ沢第三町内会会長 鎌田 光子	特別寄稿1 町内会館リフォーム回想記……………	元総務部副部長 嘉野 博起 9
北ノ沢第三町内会50周年記念を祝して……………	札幌市南区長 大平 英人	町内会館屋外(写真)……………	11
お祝いの言葉……………	藻岩地区町内会連合会会長 村上 剛	町内会館屋内(写真)……………	12
北ノ沢第三町内会創立50周年に寄せて……………	北ノ沢和朗会会長 齋藤 昇	今の北ノ沢……………	
目次		町内会執行役員の声……………	町内会執行役員 13
北ノ沢第三町内会を彩る桜(写真)……………	1	特別寄稿2 防災と地域づくり……………	防犯防火部長 森居 久 19
総務部及び実行委員会主催の行事(写真)……………	2	人生いきいき楽しく……………	前北ノ沢和朗会会長 村山喜美子 22
福祉部主催の行事(写真)……………	3	北ノ沢和朗会の活動1(写真)……………	23
青少年育成部主催の行事(写真)……………	4	北ノ沢和朗会の活動2(写真)……………	24
女性部主催の行事(写真)……………	5	子育てサロンとは……………	子育てサロン代表 川原 幸枝 25
体育部主催の行事1(写真)……………	6	子育てサロンのイベント(写真)……………	26
体育部主催の行事2(写真)……………	7	北ノ沢の子どもたち……………	27
記念植樹(写真)……………	8	特別寄稿3 北ノ沢と藻岩山麓の歴史……………	藻岩レルヒ会長 原田 廣記 28

特別寄稿4 北ノ沢に住んで……………写真家 石井 一弘 30

創立50周年記念座談会……………32

資料編

農事実行組合時代（戦前～昭和38年ごろまでの風景）（写真）……………42

北ノ沢第三町内会組織図2021年8月現在版……………43

北ノ沢第三町内会会則……………44

歴代役員名簿……………46

北ノ沢第三町内会 個人情報取扱規定……………56

災害時における避難所開設に関する覚書……………57

町内会館の避難所開設に係る運用について……………59

北ノ沢第三町内会館管理運営規則……………61

館内掲示板の使用に関する取り扱い規定……………62

会館使用料金表……………63

北ノ沢お互い様ネットワーク（子育てサロン）会則……………64

貸付契約書……………67

編集後記……………72



絵；黒澤フク 雪の北ノ沢山麓

北ノ沢第三町内会を彩る桜



〈北ノ沢山手線 4丁目付近〉



〈北ノ沢公園入口〉



〈北ノ沢公園〉



〈北ノ沢公園〉



〈北ノ沢公園内〉



〈北ノ沢公園内〉



〈北ノ沢山手線 6丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 2丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 4丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 3丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 川沿 1条付近〉



〈北ノ沢山手線 川沿1条付近〉



〈北ノ沢山手線 4丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 4丁目付近〉



〈北ノ沢山手線 4丁目付近〉

記念植樹

日 時:令和3年6月21日(月) 8:30~



プレート設置 日 時:令和3年9月16日(木) 12:00~



今の北ノ沢



資
料
編



編 集 後 記

世の中がコロナ一色となっていた中で、この度、ここに創立50周年記念誌を完成させることができました。ご寄稿いただいた大平南区長様はじめ、ご協力賜りました皆様にご心から感謝申し上げます。

町内会発足前後の基盤作り等については、『30周年北ノ沢第三町内会史』に詳細に記録されております。今回の基本方針は、最近の町内会活動のありのままの姿を次世代へ伝え、次の展望が開かれることに重点を置きました。

なお、第一回の実行委員会に町内会顧問として出席・指導助言をいただきました土居博昭様が当記念誌の完成を見ぬまま本年四月ご逝去されました。謹んでご冥福お祈りいたします。
(谷内茂)

北ノ沢に住んで約45年、自然と野鳥の鳴き声に癒されています。

今回は北ノ沢第三町内会50周年記念誌の編集に当たり、写真担当として携わったことは光榮に思います。

町内会、子育てサロンの行事の活動報告(写真)が記念誌にも掲載されますので是非見て頂ければ幸いです。

ただ、コロナ禍で祝賀会が中止となり、その写真がないのは残念です。

なお、2頁にわたる北ノ沢和朗会の活動(写真)は、同会の佐々木清さんの撮影によるものであることをお伝えいたします。
(宮本昭一)

昨年度より町内会執行役員の一員となった私ですが、北ノ沢第三町内会創立50周年記念誌作成に関わらせて頂き感謝申し上げます。

皆様方からいただいた原稿を打ち込む作業は大変でしたが、そのことにより、「この町内を愛し、支えてこられた先輩方のご努力」、「町内の歴史」、「これからの町内に対する思い」等に触れることができ、感動いたしました。

これからは、単にこの地域の自然に心を和ませているだけではなく、町内の充実・発展のため、少しでも自分で出来ることでお役に立ちたいと思いました。なお、新型コロナウイルスの感染が収束しましたら、町内の方々とともに触れあえる機会を増やしたいと思います。
(桂玲子)

藻岩地区 北ノ沢第三町内会 創立50周年記念事業 実行委員会

実行委員長	谷内 茂
副実行委員長	鎌田 光子
実行委員	齋藤 昇
同	柿山浩一郎
同	宮本 昭一
同	石井美由紀
同	桂 玲子
同	岡 洋
同	田中 信昭
同	坂本 正博
同	阪下 さなえ



藻岩地区 北ノ沢第三町内会 創立50周年記念誌

発行日	令和3年12月
発行人	鎌田 光子
編集責任者	桂 玲子
表紙写真	石井 一弘
ロゴマーク	柿山浩一郎
イラスト	谷内 茂

印刷・製本
山藤三陽印刷株式会社
〒063-0051
札幌市西区宮の沢1条4丁目16-1
☎011-661-7163